



 **Husqvarna**[®]



Soff-Cut 150, Soff-Cut 150 D

目次

はじめに.....	2	メンテナンス.....	14
安全性.....	5	トラブルシューティング.....	16
組立.....	9	搬送、保管、廃棄.....	19
操作.....	11	主要諸元.....	21

はじめに

製品の説明

本製品はコンクリート用フロアソーです。エンジンにはオイル警告システムが搭載されており、油面が低くなるとエンジンが停止します。エンジンは、油面が規定の高さを超えないと始動できません。

本製品には、次のような特長があります。

- 手押し式で、すべての機能を手動で制御。
- ブレードの深さの機械式制御。
- ノンマーキング、ノンスティックのポリウレタンホイール。
- 高強度の一体型フレーム。
- 折り畳み式ハンドル。
- 独自のロールケージフレーム。
- 特許取得済みの安全アーバ。
- 格納式フロントガイドシステム。

Soff-Cut 150 の独自機能

特許取得済みの Soff-Cut Ultra Early Entry 乾式切断システムで、早期の切断（通常、硬化プロセスの完了後 1～

2 時間以内に行う）により、コンクリートの不規則なひび割れを制御できます。

Husqvarna Excel ブレードと組み合わせた特許取得済みの低騒音、低粉塵のブレードブロック、スキッドプレート技術により、**Ultra Early Entry** カuttingで、欠けや剥離を最小限に抑えながら同日中に切削できます。

Soff-Cut 150 は、格納式フロントガイドシステムを搭載しています。

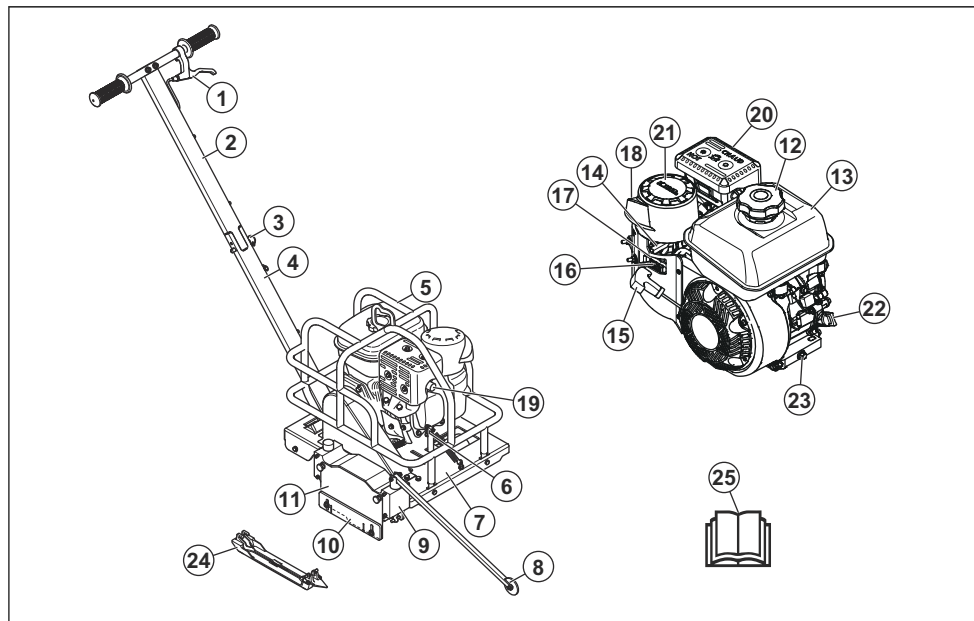
Soff-Cut 150 D の独自機能

本製品は、経済的で耐久性がある、商業施設の美装コンクリートの Cuttingソーとして設計されています。装飾的な切削、車道、駐車場での中程度の負荷の使用に適しています。

用途

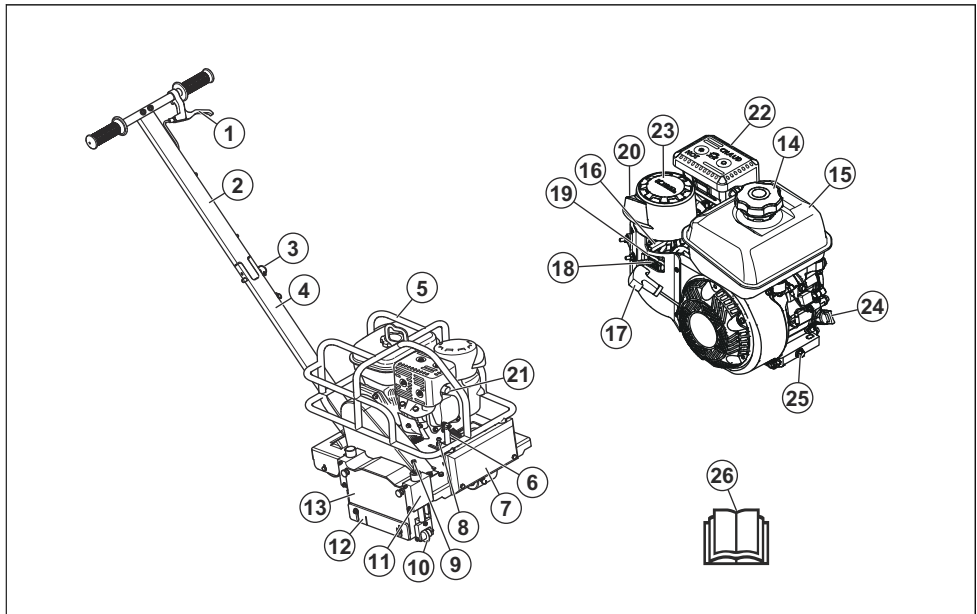
本製品は、コンクリートスラブ打設後の収縮目地の切削に使用します。住宅地や商業施設での用途に使用します。他の作業に本製品を使用しないでください。

製品の概要 - Soff-Cut 150



- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. ブレードリリースレバー | 14. スロットルトリガー |
| 2. 上部ハンドル | 15. スターターハンドル |
| 3. ロックピン、ハンドル | 16. 燃料バルブ/エンジン ON/OFF スイッチ |
| 4. 下部ハンドル | 17. チョークコントロール |
| 5. ロールケージ | 18. サイクロンエアクリーナー給気口 |
| 6. 深さ停止調整 | 19. 排気口 |
| 7. ソーフレーム | 20. マフラーカバー |
| 8. フロントガイド | 21. エアフィルターカバー |
| 9. ブレードブロック | 22. オイルレベルゲージ/オイルフィルター |
| 10. レキサンカバー | 23. オイルドレンプラグ |
| 11. カバー | 24. スキッドプレート (別売) |
| 12. 燃料タンクフィルターキャップ | 25. 取扱説明書 |
| 13. 燃料タンク | |

製品の概要 - Soff-Cut 150 D



- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1. ブレードリリースレバー | 14. 燃料タンクフィルターキャップ |
| 2. 上部ハンドル | 15. 燃料タンク |
| 3. ロックピン、ハンドル | 16. スロットルトリガー |
| 4. 下部ハンドル | 17. スターターハンドル |
| 5. ロールケージ | 18. 燃料バルブ/エンジン ON/OFF スイッチ |
| 6. 深さ停止調整 | 19. チョークコントロール |
| 7. カウンターウェイト | 20. サイクロンエアクリナー給気口 |
| 8. ソーフレーム | 21. 排気口 |
| 9. プランジ調整ネジ | 22. マフラーカバー |
| 10. フロントガイドホイール | 23. エアフィルターカバー |
| 11. ブレードブロック | 24. オイルレベルゲージ/オイルフィルター |
| 12. レキサンカバー | 25. オイルドレンプラグ |
| 13. カバー | 26. 取扱説明書 |

提案 65



WARNING

The engine exhaust from this product contains chemicals known to the State of California to cause cancer, birth defects or other reproductive harm.

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。

- メーカーによるものではないアクセサリー、またはメーカーの認可していないアクセサリーを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告：取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意：取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記：特定の状況が必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

メーカーからお客様へ

この取扱説明書の発行後、Husqvarna 社は本製品の安全な操作のための追加情報を発表する場合があります。最も安全な操作方法の最新情報を確認することは、オーナーの義務です。

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ご質問やご要望については、弊社のウェブサイト (www.husqvarna.com) からお問い合わせください。

一般的な安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。安全注意事項に従わないと、負傷や死亡事故が発生するおそれがあります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な傷害または致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

- 常に常識に基づいて注意して使用してください。特殊な状況での本製品の操作方法がわからない場合、作業を続ける前に本製品を停止して、Husqvarna 販売店までご連絡ください。
- 第三者やその所有物が事故に関係する場合、その責任は、作業者にあることを忘れないでください。
- 本製品は清潔に保ってください。標識やラベルがはっきりと読み取れるようにしてください。
- 取扱説明書を読んで内容を理解した人へのみ本製品を使用させてください。
- 子供に本製品を操作させないでください。
- 指示を理解していない人に本製品を操作させないでください。
- 身体的、精神的にハンデを負った人が本製品を使用する場合は常に監視してください。責任を有する大人が常にそばにいる必要があります。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。視力、注意力、動作、判断力に悪影響を与えます。
- 本製品に不具合がある場合は使用しないでください。
- 本製品を改造しないでください。また、本製品が改造されている可能性がある場合は使用しないでください。

作業エリアの安全



警告：許可されていない人が一定の距離以上近寄らないようにしてください。使用者は、作業エリア内に動物や傍観者がいないことを確認する責任を負っています。

- 作業エリアはきれいに、適切な照度を保ってください。雑然としたエリアや暗いエリアでは、事故の危険性が高まります。
- 人や動物が使用者のそばにしていると注意が散漫になり、操作ミスを引き起こすおそれがあります。そのため、常に作業に集中するようにしてください。
- 濃霧、大雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本製品を使用しないでください。
- 作業エリアに邪魔なものがないことや、足場が安定していることを確認してから、本製品の使用を開始してください。

個人の安全



警告： 切削、特に乾式切削により、切削中の素材から埃が出ますが、中にケイ石が含まれることがよくあります。ケイ石は、砂、石英、レンガ用粘土、花崗岩およびその他多数の鉱物や岩の基本成分です。ケイ石の粉塵に大量に曝されると、以下のような健康上のリスクの原因になります。

- ケイ石による慢性気管炎、珪肺および肺線維症等、呼吸器疾患（呼吸機能に影響）。以下の疾患は致命的になることがあります。
- 皮膚炎および発疹
- NTP（国家毒性プログラム）および IARC（国際がん研究機関）に準じたがん。

これらの健康上のリスクを防止するために、以下の予防措置を実行してください。

- 埃、噴霧および煙霧は吸い込んだり、肌に触れたりしないようにする。
- 微粒子を排除するための埃マスク等の適切な呼吸器保護具を着用し、そばにいる人も着用していることを確認する。（米国職業安全衛生管理局連邦規則 29 条第 1910 章第 1200 項を参照）
- 埃を最小限に抑えるため、できるだけ湿気を含んだ状態で切削する。

も、負傷の危険性はなくなりません。身体保護具を使用すると、事故が発生した場合に負傷の程度が軽減されます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。

- 本製品を操作するときは、認可された防護メガネを使用してください。
- つま先部がスチール製の丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な作業服を着用してください。
- 丈夫でしっかりと握ることができる、認可済みの保護グローブを着用してください。
- ゴム製の保護グローブを着用して、湿ったコンクリートによる皮膚炎を防止してください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。
- 本製品を操作するときは必ず、認証されたイヤマフを使用してください。長時間の騒音によって聴力が低下するおそれがあります。
- 本製品は、有害な化学物質を含んだ粉塵や煙霧を発生させます。適切な呼吸マスクをご使用ください。
- 救急用具が近くにあることを確認してください。
- 本製品を操作するときに、火花が生じる場合があります。消火器が近くにあることを確認してください。
- ゆったりとした作業服や宝飾品、その他稼働部に絡まるおそれがあるものは着用しないでください。安全のため、髪の毛は肩よりも上にまとめてください。

使用と手入れ



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、業務用途で、熟練者が使用することを想定しています。
- 本製品を使用するには、経験が非常に重要です。経験豊富な作業者を強く推奨します。
- 本機の使用においては、現地の法規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業する地域で適用される規制についてご確認ください。
- 狭い場所や換気の悪い場所でエンジンをかけると、窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル（3フィート）以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気確保してください。
- エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください。
- 両手でハンドルを持って後部から本製品を操作してください。
- 積み込み、積み下ろし、および斜面で本製品を操作する場合は注意してください。
- 本製品を、人や機器を移動させる乗り物として使用しないでください。
- 安全に作業できるように、工具は鋭利で清潔な状態に保ってください。

- 事故のときに助けを求めることができない状況で、本製品を使用してはいけません。
- イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。
- 意図せぬ始動を防止してください。スイッチが OFF の位置にあることを確認してください。
- 本製品の上に工具や物が置かれていないことをチェックしてください。
- 長時間の休憩時には、必ず本製品の電源をオフにしてください。
- 一人で作業せず、常に別の人が近くにいるような状況を確認してください。
- 本製品の使用方法、安全な操作、および迅速な停止方法について学習してください。さらに、安全マークについて学び、識別できるようにしてください。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。

操作のための安全注意事項

使用者の身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を操作するときは常に、適切なプロテクティブ装具を使用してください。身体保護具を使用して

- ・ モーターが作動している状態、および管理者のいない状態で本機を放置しないでください。
- ・ ブレードの進行方向に立ったり、回転しているブレードに触れたりしないでください。
- ・ 本製品の上に立たないでください。



注意：本製品を使用する前に、以下の注意指示を読んでください。

- ・ 毎日のメンテナンスを実施してから、エンジンを始動してください。「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。
- ・ 本製品に過負荷をかけないでください。過負荷が本製品に損傷を与える場合があります。
- ・ すべての部品が正常に動作し、付属品が適切に締結されていることを確認します。
- ・ 本製品の操作時には、ブレードが地面や他の表面に接触しないようにしてください。

本製品の安全装置

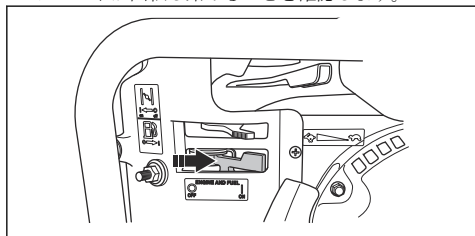


警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

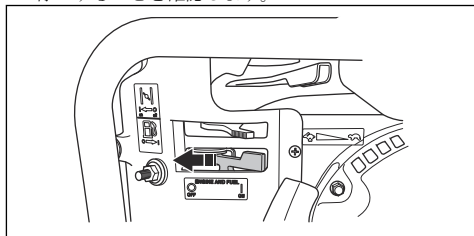
- ・ 安全装置に欠陥のある製品は使用しないでください。安全装置は定期的に点検してください。安全装置に欠陥がある場合は、Husqvarna サービス代理店にご相談ください。
- ・ 安全装置は改造しないでください。保護プレートや保護カバー、安全スイッチ、その他の保護装置が取り付けられていない、または故障しているときは、本製品を使用しないでください。

ON/OFF スwitchのチェックを行うには

- ・ スイッチを ON の位置にしたら、エンジンが始動し、ブレードが回転し始めることを確認します。

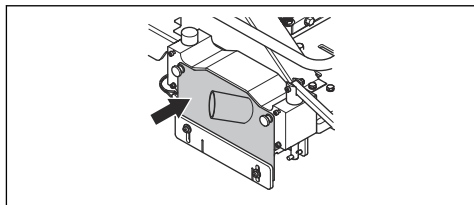


- ・ スイッチを OFF の位置にしたら、すぐにエンジンが停止することを確認します。

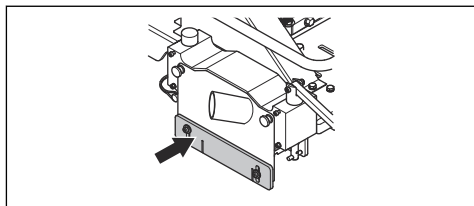


ブレードブロックガードとレキサンカバー

ブレードブロックガードは、操作者を回転ブレードから保護し、操作者に粉塵がかからないようにします。

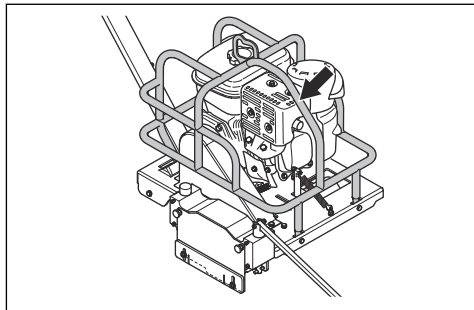


レキサンカバーは、操作者に粉塵がかからないようにするだけでなく、微粒子の排出も防止します。レキサンカバーが上下に自由に動くことを確認してください。



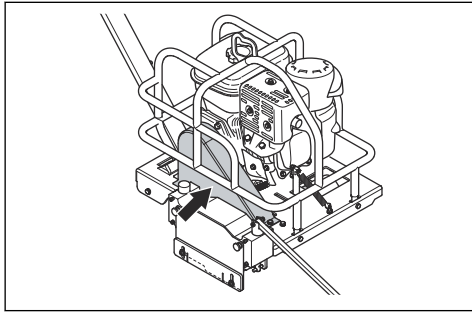
ロールケージ

ロールケージは、装置やエンジンの損傷を防止し、操作者の負傷を防止します。



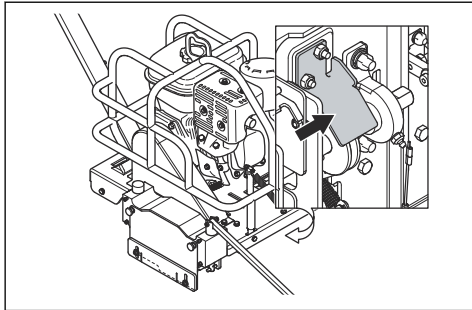
ベルトガード

ベルトガードは、回転しているシーブやベルトから操作者を保護します。



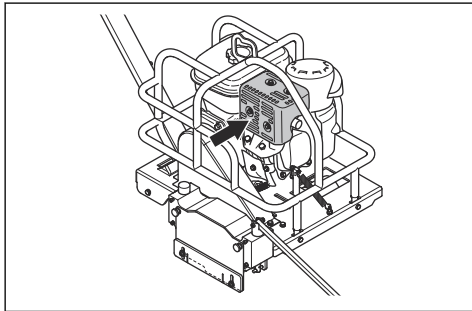
シーブガード

シーブガードは、回転しているブレードシャフトシーブから操作者を保護します。



マフラーガード

マフラーガードは、過熱したマフラーによる火傷を防止します。



保護ガードのチェックを行うには

本製品の操作前に、ブレードブロックガード、レキサンカバー、ロールケージ、ベルトガード、シーブガード、およびマフラーを点検する必要があります。

- ガードが損傷しておらず、ひび割れが無いことを確認してください。衝撃を何度も受けていたり、ひびが入っていたりする場合は、ガードを交換します。
- 本製品を始動する前に、ガードが正しく取り付けられていることを確認してください。

燃料の安全について



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- 本製品に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。不要な燃料やオイルを本製品から除去し、乾かしてください。
- 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料が身体に付着しないようにしてください。負傷する場合があります。身体に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- エンジンに漏れがある場合は、本製品を始動しないでください。エンジンに漏れがないかどうかは定期的に点検してください。
- 燃料に注意してください。燃料は可燃性で蒸気には爆発性があるため、負傷や死亡に至ることがあります。
- 燃料の蒸気を吸引しないでください。負傷の原因になることがあります。十分な空気の流れを確保してください。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- 燃料やエンジンのそばに温かい物を置かないでください。
- エンジンの稼働中は、燃料を補充しないでください。
- 燃料の補充は、エンジンが冷えてからにしてください。
- 燃料を補充する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重に圧力を解放してください。
- 屋内でエンジンに燃料を補充しないでください。十分な空気の流れがないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。
- 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
- 始動する前に燃料を入れた場所から本製品を 3 m (10 フィート) 以上移動させてください。
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。屋内または閉鎖された空間でエンジンを始動しないでください。

- 本製品のメンテナンスを実施する前に、エンジンを停止し、スパークプラグからイグニッションケーブルを取り外してください。
- カutting装置のメンテナンスを実施するときは、保護グローブを使用してください。ブレードは非常に鋭いため、切り傷を負う危険性があります。
- メーカーが認可していないアクセサリを使用や本製品の改造は、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。本製品を改造しないでください。必ず、メーカー認可済みのアクセサリを使用してください。
- メンテナンスが正しく定期的実施されていない場合は、負傷や本製品の損傷の危険性が高まります。
- 取扱説明書に記載されているメンテナンスのみを実施してください。他のすべてのサービス作業は、Husqvarna の認証サービス代理店が実施する必要があります。
- Husqvarna の認証サービス代理店で定期的に本製品のサービス作業を実施する必要があります。
- 損傷、摩耗、破損した部品は交換してください。

組立

はじめに



警告：本製品を組み立てる前に、安全に関する章をお読みになり、内容を理解してください。



警告：本製品を組み立てる前に、スパークプラグからスパークプラグケーブルを取りはずしてください。

本製品を開梱するには

1. 製品をパッケージから取り出します。本製品はローラーケージにあるセンターハンドルから持ち上げてください。
2. 梱包材については、地域のリサイクル要件と適用される法規に従ってください。
3. Soff-Cut 150 : ソーには、ダイヤモンドカuttingブレードやスキッドは付属していません。ハスクバーナ建設機械販売店で適切なブレードやスキッドプレートをご購入ください。
4. Soff-Cut 150 D : ソーには、ラディアスまたはベベルブレードは付属していません。ハスクバーナ建設機械販売店で適切なブレードをご購入ください。

ブレードを取り付けるには

最高の性能を得るには、Husqvarna 指定の Soff-Cut ブレードのみを使用してください。

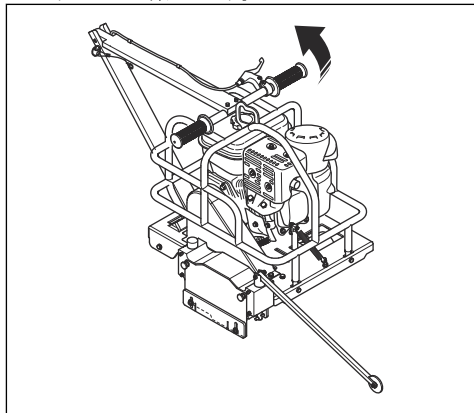


注意：ブレードに損傷、ひび割れ、セグメント欠け、曲がり、オーバーヒート、過剰な摩耗、または三角アーバの穴に損傷がないか点検します。ブレードにこれらの問題が見られる場合は、そのブレードを破棄してください。

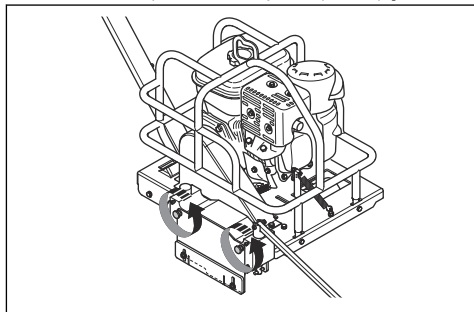
ブレードの最大出力回転数が 4450 rpm 以上であることを確認してください。

ブレードフランジに損傷、過剰な摩耗、汚れがないか点検します。ブレードは、汚れや損傷のない三角アーバのシャフトにぴったりとはまる必要があります。

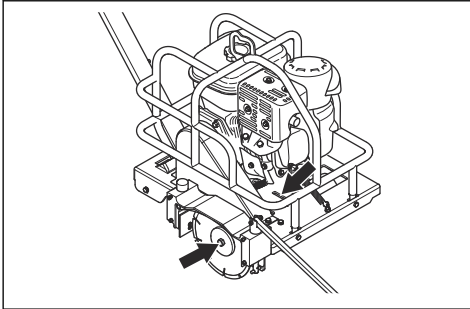
1. ハンドルを完全に直立した位置まで折り畳みます。
2. ロックピンを挿入します。



3. 両手でハンドルバーを押下げて、ロック位置まで完全にブレードを持ち上げます。
4. ブレードブロックカバーを取りはずします。



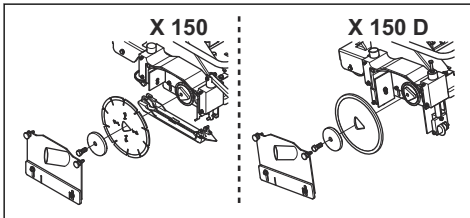
5. 付属の 2 本のレンチのうち、1 本をエンジンの前部のスロットに、もう 1 本をブレードシャフトボルトに挿入します。



6. ブレードシャフトボルトにあるレンチでブレードシャフトを反時計方向に、もう 1 本のレンチがシャフトの他端のフラットと合うまで回します。
7. 引き続きブレードシャフトボルトを反時計方向に回して、ブレードシャフトボルトを取りはずします。
8. 外側のブレードフランジを取りはずします。
9. モデル Soff-Cut 150: 古いスキッドプレートを廃棄します。

注記: 特許取得済みのスキッドプレートは、Soff-Cut Ultra Early Entry システムで最も重要な部品です。このプレートに曲がり、歪み、損傷があると、切断部が剥離したりほぐれたりすることがあります。スキッドプレートは慎重に保管し、正しく取り付けてください。新しい各ブレードとは新しいスキッドプレートを取り付けてください。スキッドプレートは再使用しないでください。

10. シャフト、ブレードブロック、およびブレードブロックカバーからコンクリートを完全に取り除きます。
11. ブレードシャフトに汚れのないブレードを取り付けます。



12. 外側のブレードフランジを取り付けます。ボルトをしっかりと締め込みます。
13. モデル Soff-Cut 150: 新しいスキッドプレートを取り付けます。
- a) スキッドプレートの前部をフロントブレードブロックシャフトのピンに掛けます。
- b) リアブレードブロックシャフトとスキッドプレートの後部をカチッと音がするまで押して接続します。

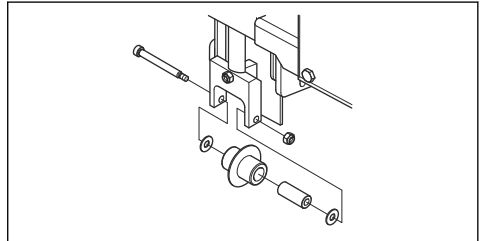
14. ブレードブロックガードを取り付けます。ブレードブロックに完全に固定されるまで締め込みます。
15. モデル Soff-Cut 150: スキッドプレートの前部と後部を持ち上げて、ブレードがスキッドプレート内を自由に動くことを確認します。
16. レキサンカバーが上下に自由に動くことを確認してください。

ガイドホイールを交換するには (Soff-Cut 150 D)

XL6- V25-D ブレードを使用して、 $\frac{1}{4}$ インチの切削部を入れる場合は、 $\frac{1}{4}$ インチ幅のガイドホイールを使用します。ソーにはフロントガイドホイールとリヤガイドホイールが付いています。

注記: フロントガイドホイールとリヤガイドホイールの両方を交換する必要があります。幅が異なるガイドホイールを混在させないでください。

1. ロックナットを取りはずし、ショルダーボルトを引き出します。



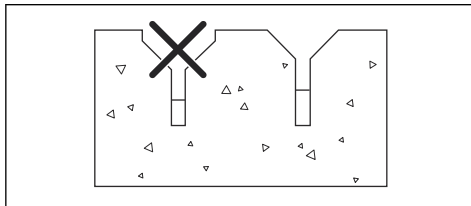
2. 取りはずしたワッシャーや他の部品と、組み立て順序をメモします。
3. 古いフロントガイドホイールの内部からブロンズ軸受けを引き出して、新しいものに挿入します。
4. 古いリヤガイドホイールの内部からブロンズ軸受けを引き出して、新しいものに挿入します。
5. 同じショルダーボルト、ロックナット、プラスチック製ワッシャーを使用して新しいガイドホイールを取り付けます。

$\frac{1}{2}$ インチ幅の切削部を入れる場合、ProEdge Blade XL6-V500-D には、 $\frac{1}{2}$ インチ幅のガイドホイール（ソーに付属しません）も使用できます。

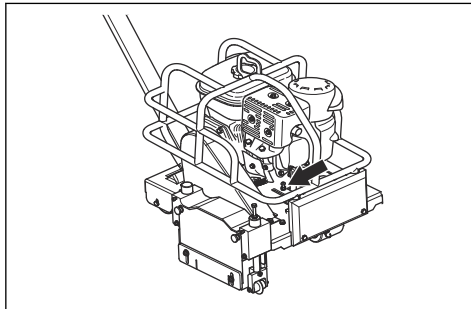
ブレードの深さを調整するには (Soff-Cut 150 D)



注意: ラディアスおよび V ブレードの切削深さは、最適な性能を得るために工場出荷時に最大の深さにプリセットされています。必要のない限り、調整しないでください。出荷時より狭い幅で浅く切削する場合にのみ、調整してください。出荷時より深くはしないでください。最大の深さ以上に調整すると、図に示すように意図しない面取り切削面になります。

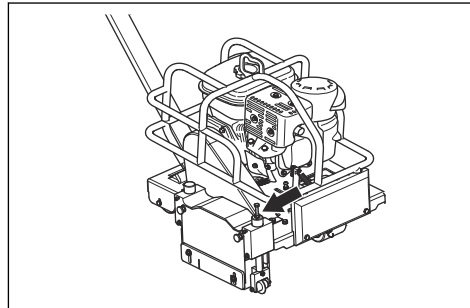


1. 深さ停止調整用の薄ナットを反時計方向に回して緩めます。



2. 深さ調整ボルトを時計方向に回します。深さ調整ボルトを1回転させると、面取りまたは半径切削面の幅が $\frac{1}{8}$ インチ縮小します。

3. ブランジ調整用の薄ナットを反時計方向に回して緩めます。メインフレームの後部を押下げて、リヤホイールが水平に接地していることを確認します。



4. ブランジ調整ネジがガイドホイールシャフトに触れるまで、手でブランジ調整ネジを時計方向に回します。
5. 反時計方向に $\frac{1}{4}$ 回転戻し、ブランジ調整用の薄ナットを締め込んで固定します。
6. 既存の切削目地を約1フィート（30 cm）切り込んで、適切で装飾的な切削面に仕上がっているか確認します。

操作

はじめに



警告：本製品を操作する前に、安全に関する章をお読みにになり、内容を理解してください。

基本的な作業方法

収縮目地と目地間隔

コンクリートが水和して硬化が始まると、内部応力が成長し、不規則なひび割れが発生する可能性があります。

不規則なひび割れがあると、コンクリートの品質や仕上がりに問題が生じます。不規則なひび割れという形で応力が自然に解放される前に、コンクリートに収縮目地を入れて応力を解放します。

Soff-Cut Ultra Early Entry システムは、事前に決めた場所で切削を早いタイミングで行って、コンクリートに弱い面を作り、以後、切削部の底部にひびが入って応力が解放されるようにすることで、コンクリートの不規則なひび割れを制御します。

切削される収縮目地は、コンクリートの深さの最低 $\frac{1}{8}$ 、最低 25 mm（1 インチ）の深さが必要です。

コンクリートが本製品と作業者の重さを支えられるときに収縮目地を入れます。製品によってコンクリートに跡

が付いたり、コンクリートが損傷したりしないようにしてください。

目地はさまざまなレイアウトにすることができます。目地のレイアウトは、切削する前にその詳細を切削請負業者が提出して承認を受ける必要があります。

目地間隔に影響するさまざまな条件があります。

- コンクリートの厚さ。
- 強化剤の種類、量、配置。
- コンクリートセメント（種類、量）の収縮能力、骨材（サイズ、量、品質）、水とセメントの比率、混和材料、コンクリートの温度。
- 底面摩擦。
- スラブの制限。
- 基礎、ラック、ビット、装置パッド、溝などのレイアウト。
- 環境要因 - 温度、風、湿度。
- コンクリート養生の方法と品質。

通常、収縮目地のパターンは、スラブを推奨される間隔（表を参照）ごとに、ほぼ正方形のパネルに分割する必要があります。

コンクリートの厚さ : mm (インチ)	最大間隔 : m (フィート)
90 (3.5)	2.4 (8)

コンクリートの厚さ : mm (インチ)	最大間隔 : m (フィート)
100, 114 (4, 4.5)	3.0 (10)
125, 140 (5, 5.5)	3.6 (12)
150 (6) 以上	4.5 (15)

交差するすべてのクロスカットで、それぞれの目地に Husqvarna 目地プロテクターを設置して、目地の損傷を防止します。適切なホイールが目地を横断する場所に目地プロテクターを設置して、コンクリートの損傷を防止します。

Soft-Cut システムの活用

「コンクリート業務のタイミング、特に仕上げと目地入れのタイミングは重要です。この問題に対処できないと、摩耗面にひび割れなど望ましくない特徴が発生する可能性があります。」(米国コンクリート学会 (ACI) 302.1 R-96 の序文より抜粋)

特許取得済みの Soft-Cut Ultra Early Entry システムは、不規則なひび割れを制御する方法に革新をもたらしました。

作業者が Soft-Cut システムを使用して十分な仕事をやり遂げるには、次の基準を満たす必要があります。

- Soft-Cut Ultra Early Entry 乾式切削ソー。
- Husqvarna Excel シリーズ乾式切削ダイヤモンドブレード。
- Husqvarna 新しいすべてのダイヤモンドブレードとともに取り付けられる耐ほぐれ性スキッドプレート。
- Soft-Cut Ultra Early Entry 切削システムの使用に熟練した作業者。

熟練した作業者でないと、建築依頼者に期待されている、発生前に不規則なひび割れを制御するために必要なクリアな目地を切削することができません。

ACI Spec 302.1R-96 は、このことを適切に語っています。

「ソフカット乾式切削ソーは、ダイヤモンド含浸ブレードと、剥離を防止するスキッドプレートを使用しています。剥離を効果的に制御するには、スキッドプレートを適時交換する必要があります。メーカーの推奨に従ってスキッドプレートを交換することが最善です。ソーによる切削の目的は、目地を切削できるようになったらすぐに弱い面を作ることです。ソフカットプロセスのタイミングにより、コンクリートで大きな引張応力が成長する前に、適切な位置に目地を配置できます。」

ポートランドセメント協会 (PCA) の技術資料「Concrete Floors on the ground」にも、次のように述べられています。

「適切な目地入れにより、見栄えの悪い不規則なひび割れをなくすことができます。優れた仕事に至る目地を入れるための要素には、各場所に適切なタイプの目地を選ぶこと、優れた目地パターンとレイアウトを確立すること、適切なタイミングで目地を設置することが挙げられま

す。目地を切削するタイミングは重要です。軽量で高速のソフカットソーは、道路の仕上げ後、非常に早いうち(場合によっては、0~2 時間以内)に目地を切削できるようにするために開発されました。最終仕上げ後数時間以内に切削部を切削すれば、不規則なひび割れを制御できます。」

Husqvarna には、切削を早いタイミングで行うことで不規則なひび割れを制御する唯一の Ultra Early Entry 水冷不用切削システム (Soft-Cut) が搭載されています。特許取得済みの Soft-Cut 方式では、通常、仕上げプロセスの 2 時間後以内に制御目地を切削します。

目地の切削は、それぞれの目地の場所で最終的に硬化する前に、コンクリートがソーと作業者の重さを支えられるようになったらすぐに、開始する必要があります。

この時間枠の範囲内に目地が切削されない場合、Soft-Cut Ultra Early Entry の方法に沿ったことになりません。

本製品を操作する前に

1. 毎日のメンテナンスを実施します。メンテナンススケジュール 14 ページを参照してください。
2. ハンドルが完全に直立した位置になり、ロックピンが取り付けられていることを確認します。
3. フロントガイドが前方に回っていることを確認します。
4. オイルタンクを充填します。推奨されるエンジンオイルについては、主要諸元 21 ページを参照してください。
5. 油面をチェックします。油面のチェックを行うには 15 ページを参照してください。

燃料の充填方法

オクタン価が 90 RON (87 AKI) 以上の無鉛ガソリンを使用してください。



注意：オクタン価が 90 RON (87 AKI) 未満のガソリンは使用しないでください。本製品が損傷する場合があります。



注意：エタノール含有率が 10 % を超える無鉛ガソリンは使用しないでください。始動や性能の問題の原因となる場合があります。エタノール含有率が 10 % を超える無鉛ガソリンにより、燃料システムの金属、ゴム、およびプラスチック製部品が損傷したり、火災が発生したりする場合もあります。



注意：メタノールを含有するガソリンは使用しないでください。



注意：30 日よりも古い燃料は使用しないでください。古い燃料は、動作中の問題や燃料システムの損傷の原因となる場合があります。

1. 運搬車から本製品を地上に降ろします。これが不可能な場合、ガソリンディスペンサーノズルからではなく、ポータブルコンテナで給油してください。

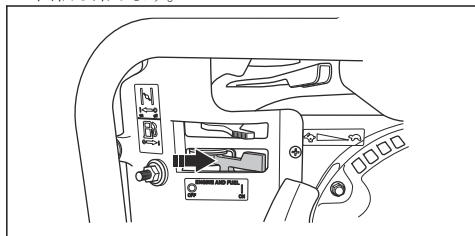


警告： 認証されたガソリンコンテナのみを使用してください。運搬車内でコンテナに充填しないでください。運搬車から離れた地面にコンテナを置いてください。

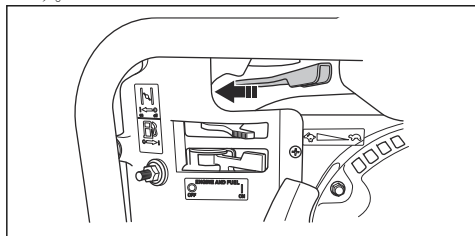
2. 燃料タンクキャップをゆっくりと開いて、圧力を解放します。
3. 給油が完了するまで常に、ノズルが燃料タンクまたはコンテナの開口部の縁に触れていることを確認します。ノズルのロック開放装置は使用しないでください。
4. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。
5. 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
6. 始動する前に燃料を入れた場所から本製品を 3 m (10 フィート) 以上移動させてください。

エンジンの始動方法

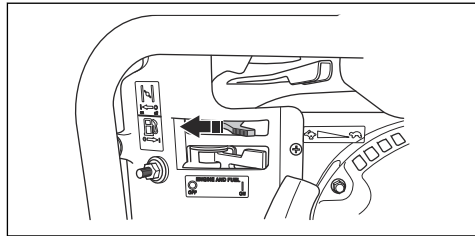
1. 両手でハンドルバーを押し下げて、ロック位置まで完全にブレードを持ち上げます。
2. スイッチを「ON」(「I」の位置) まで回して、エンジンを始動させます。ON の位置にすると、燃料バルブも開きます。エンジンがオンになると、ブレードが回転し始めます。



3. スピードレバーを開位置まで $\frac{1}{2}$ の位置へ動かします。



4. エンジンチョークレバーを閉じます。



注記： チョークの位置が閉にあると、燃料混合物が濃縮されて冷えたエンジンを始動させます。チョークの位置が開にあると、エンジン始動後の操作や暖機エンジンの再始動に適切な燃料混合物が供給されます。

5. スターターハンドルを引きます。
6. エンジン始動後、チョークをゆっくりと開きます。エンジンが温まるまで数分間待ちます。

本製品を操作するには (Soff-Cut 150)

1. エンジンスロットルレバーを完全な開位置まで開いて、エンジン速度を最大にします。
2. フロントガイドの白いホイールとブレードブロックの後部にある三角形のポインタを使用して、ソーを切削ラインと揃えます。
3. ソーハンドルを押し下げ、ブレードリリースレバーを引いて、ブレードをコンクリートにゆっくりと下ろします。
4. ソーを前に押して切削します。このとき、フロントガイドホイールが切削ラインから外れないようにします。
5. 最初の 50 フィート (15 m) は約半分速度でソーを押して、ブレードのダイヤモンド露出が良好になるようにします。
6. ブレードとエンジンが最大効率で動作するまで、ソーの前進速度を上げます。ソーに無理な力を加えないでください。
7. 壁に近づいたら、フロントガイドを上げ、ブレードブロックの後部にある三角形のガイドを使用して残りの数フィート (1 メートル) を切削します。



注意： ブレードブロックアセンブリが物に当たらないようにしてください。損傷する可能性があります。

本製品を操作するには (Soff-Cut 150 D)

1. エンジンスロットルレバーを完全な開位置まで開いて、エンジン速度を最大にします。
2. リヤガイドホイールを既存の切削部と揃えます。

3. ソーハンドルを押し下げ、ブレードリリースレバーを引いてゆっくりとソーを下げ、リヤガイドホイール、次にフロントガイドホイールを切削部に落としします。

注記： フロントガイドホイールとリヤガイドホイールが切削部と確実に揃うまでソーとブレードを完全にはコンクリートに下ろさないでください。

4. ガイドホイールが切削部に入ったら、ソーを完全に下ろして目地の切り込みを開始します。
5. 既存の切削目地を約 1 フィート (30 cm) 切り込んで、ブレード/ガイドホイールの位置を確認し、適切で装飾的な切削面が実現されていることを確認します。
6. ブレードとエンジンが最大効率で動作するまで、ソーの前進速度を上げます。ソーに無理な力を加えないでください。
7. 速度を一定に維持します。ソーを速く押しすぎると、ブレードが切削目地の外に乗り上げて面取りが不均等になります。



注意： ブレードブロックアセンブリが物に当たらないようにしてください。損傷する可能性があります。

エンジンの停止方法

- 両手でハンドルバーを押し下げて、ロック位置まで完全にブレードを持ち上げます。
- エンジンスロットルレバーを完全な閉位置まで動かします。
- スイッチを OFF 位置 (O) にします。これにより、燃料バルブも閉じます。

注記： 仕上げ操作後、本製品を洗浄します。

メンテナンス

はじめに



警告： メンテナンス作業を行う前に、安全に関する章をお読みになり、内容を理解してください。

メンテナンススケジュール

メンテナンス間隔は、本製品が毎日使用されることを前提に算出されています。本製品を毎日使用しない場合は、メンテナンス間隔が変わります。

「*」の付いているメンテナンスについては、「本製品の安全装置 7 ページ」を参照してください。

メンテナンス	毎日	毎週 (40 時間)	毎月 (200 時間)
一般点検の実施	X		
油面の点検	X		
製品の洗浄	X		
スキッドプレートの点検 (Soff-Cut 150)	X		
レキサンカバーの点検*	X		
ブレードブロックガードの点検*	X		
ブレードの点検	X		
燃料レベルの点検	X		
スパークプラグの洗浄		X	
エアフィルターの点検 (および必要に応じて交換)		X	
ドライブベルトの点検		X	
オイルの交換 (最初は 20 時間後、以後は 100 時間ごと)		X	
ブレードシャフトベアリングの注油		X	
エアフィルターの交換			X

メンテナンス	毎日	毎週 (40 時間)	毎月 (200 時間)
燃料カップの点検			X
スパークプラグと電極間隔の点検			X

製品外部を洗浄するには

- 毎日の作業終了後に本製品を水で洗浄してください。
- ハンドルは汚れがなく、乾いていることを確認してください。
- 毎回の使用後、堆積した余分なコンクリートをブレードブロックから除去してください。ヘビーデューティ用ハンドヘルドブラシまたは大型のペイントブラシを使用してください。
- 製品のすべての開口部とスロットを清潔に保ち、エンジンコンパートメントに空気が自由に流れて、適切な冷却が確保されるようにしてください。

エアフィルター

エアクリーナーアセンブリはサイクロンタイプのエンジンでソーの前面に付いています。メンテナンススケジュールに従って（または必要に応じてそれよりも早く）、エアクリーナーエレメントを交換してください。「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。

詳細については、エンジンの取扱説明書を参照してください。

スパークプラグ



注意：必ず、推奨されている種類のスパークプラグを使用してください。不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーが破損する原因となります。

- スパークプラグを交換するタイミングについては、「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。
- スパークプラグの適切なタイプおよび間隔設定の詳細については、エンジンメーカーのマニュアルを参照してください。

一般点検の実施方法

- 製品のナットとネジが締め込まれていることを確認してください。
- 燃料またはオイルが漏れていないことを確認してください。
- Soff-Cut 150 D：フロントガイドとリヤガイドのホイールが自由に回ることを確認してください。

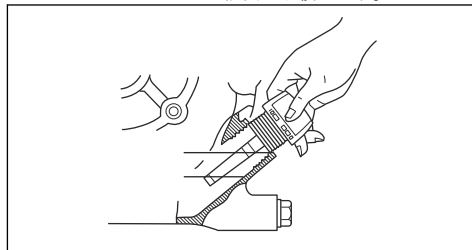
スキッドプレートのチェックを行うには (Soff-Cut 150)

- ブレードスロットの損傷および過剰な摩耗がないかチェックします。

- コンクリート面側のバリやねじれがないかチェックします。
- 新しい各ブレードとは新しいスキッドプレートを取り付けてください。スキッドプレートは再使用しないでください。
- スキッドプレートの前部と後部を持ち上げて、ブレードがスキッドプレート内を自由に動くことを確認します。

油面のチェックを行うには

1. エンジンを止めて
2. 本製品を水平面に置きます。
3. オイルレベルゲージが付いているオイルタンクキャップを取り外します。
4. オイルレベルゲージのオイルを拭き取ります。
5. オイルレベルゲージを再び入れます。締め込めないでください。
6. オイルレベルゲージを引き上げ、油面の高さを確認します。
7. オイルレベルゲージで油面を点検します。



8. 油面が低すぎる場合は、エンジンオイルを充填し、もう一度油面をチェックします。適切なオイルのタイプについては、「主要諸元 21 ページ」を参照してください。
9. エンジンを始動する前に、オイルタンクキャップを適切に締め込んでください。

注記：エンジンにはオイル警告システムが搭載されており、油面が低くなるとエンジンが停止します。エンジンは、油面が規定の高さを超えないと始動できません。

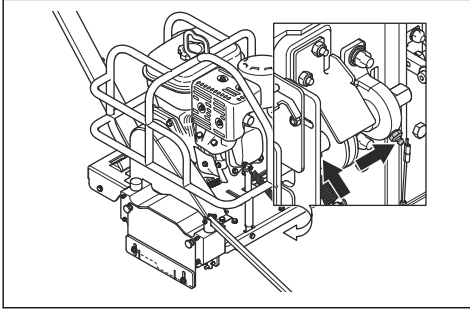
ドライブベルトのチェックを行うには

- ドライブベルトに損傷がなく、不具合が見られないことを確認してください。
- ベルトの張りは、ベルトテンショナーによって制御されるため、調整する必要はありません。
- ベルトテンショナーが上下に自由に動くことを確認してください。

- ベルトテンショナーベアリングが自由に動くことを確認してください。

ブレードシャフトベアリングを注油するには

- ブレードシャフトベアリングにリチウム 12 ベースのグリスを 3 ポンプ注油します。



エンジンオイルを交換するには

間隔については、「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。



警告：エンジンの停止直後は、エンジンオイルは非常に高温になっています。エンジンオイル排出前にエンジンを冷ましてください。エンジンオイルが皮膚に触れた場合は、石鹸と水で洗ってください。

1. エンジンオイル用ドレンプラグの下にコンテナを置きます。
2. ドレンプラグを取りはずします。
3. コンテナへオイルを排出させます。
4. ドレンプラグを取り付け、締め込みます。
5. 推奨事項に従って、新しいオイルを充填します。「主要諸元 21 ページ」を参照してください。
6. オイルの充填方法については、「油面のチェックを行うには 15 ページ」を参照してください。

エンジンのメンテナンス

エンジンのサービス作業の詳細情報については、エンジンの取扱説明書を参照してください。エンジンの取扱説明書には、仕様、調整部品、エンジンの保証、排ガス規制、その他に関する情報が記載されています。

トラブルシューティング

トラブルシューティングのスケジュール



警告：作業者は本製品の危険エリア内で作業するため、トラブルシューティングの実施に

より、負傷の危険性があります。慎重に準備し、常識に従って作業してください。

この取扱説明書内に問題の解決法が見つからない場合は、最寄りの Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。

問題	解決策
切削部に欠けや剥離がある (Soff-Cut 150)	ダイヤモンドブレードに摩耗、光沢、曲がり、または損傷がないかチェックします。
	スキッドプレートがダイヤモンドブレードに触れずにシャフト全体の長さにわたって自由に上下に動くようにことを確認します。
	スキッドプレートに過剰な摩耗やダイヤモンドブレードの周りに間隔がないかチェックします。
	スキッドプレートの底部に金属のバリや不規則性がないかチェックします。
	スキッドプレートにねじれや曲がりがないことを確認します。
	レキサンカバーが上下に自由に動くかどうかチェックします。
	スキッドプレートの両端にスプリングダウン圧力が存在することを確認します。
	切削中に本製品を横に曲げたり動かしたりしないでください。ハンドルバーにかける圧力を徐々に変えて、切削部内のソーを制御します。
	エンジンが正しく動作し、フルスロットルで動作することをチェックします。
	ベルトとベルトアイドラの張りが適切かどうかチェックします。
	ダイヤモンドブレードが適切に取り付けられていて、汚れのないフランジで固定されていることを確認します。
	ダイヤモンドブレードが作業エリアに適した仕様であることを確認します。
	スラブに、スキッドプレートや本製品が切削時に持ち上がる可能性がある異物がないことを確認します。
	切削のすべての交差部に Husqvarna 製目地プロテクターを使用します。
	ブレードブロックアセンブリからコンクリートの余分な破片を取り除きます。
	ブレードブロックのスクレイパーに曲がりや巻き付きがないことをチェックします。
	ブレードブロックシャフトに曲がりや損傷がないことを確認します。

問題	解決策
面取りまたは半径切削の一貫性がない (Soff-Cut 150 D)	ダイヤモンドブレードに摩耗、光沢、曲がり、または損傷がないかチェックします。
	フロントガイドホイールとリヤガイドホイールが上下に自由に動くことができ、巻き付きがないことを確認します。
	フロントガイドホイールとリヤガイドホイールが自由に回転できることを確認します。
	本製品を速く押しすぎないようにしてください。切削を速くしすぎると、ブレードがコンクリートの外に乗り上げます。
	以前から存在する切削部の中にガイドホイールが揃っていることを確認してから、作業します。
	既存の切削部に汚れや異物がないことを確認します。
	レキサンカバーが上下に自由に動くかどうかチェックします。
	スキッドプレートの両端にスプリングダウン圧力が存在することを確認します。
	切削中に本製品を横に曲げたり動かしたりしないでください。ハンドルバーにかかる圧力を徐々に変えて、切削部内のソーを制御します。
	エンジンが正しく動作し、フルスロットルで動作することをチェックします。
	ベルトとベルトアイドラの張りが適切かどうかチェックします。
	ダイヤモンドブレードが適切に取り付けられていて、汚れのないフランジで固定されていることを確認します。
	スラブに、ソーが切削時に持ち上がる可能性がある異物がないことを確認します。
	ブレードブロックアセンブリからコンクリートの余分な破片を取り除きます。
	ブレードブロックのスクレイパーに曲がりや巻き付きがないことをチェックします。
	ブレードブロックシャフトに曲がりや損傷がないことを確認します。
	反対方向から目地を切削し直します。
切削中に本製品が一方に引っ張られる (Soff-Cut 150)	フロントガイドがダイヤモンドブレードの中心位置と揃っていることをチェックします。
	スキッドプレートに損傷やバリがないかチェックします。
切削中に本製品が一方に引っ張られる (Soff-Cut 150 D)	フロントガイドおよびリヤガイドがダイヤモンドブレードの中心位置と揃っていることをチェックします。
	ダイヤモンドブレードに摩耗、光沢、曲がり、または損傷がないかチェックします。
	切削中にソーを横に曲げたり動かしたりしないでください。ハンドルバーにかかる圧力を徐々に変えて、切削部内のソーを制御します。
	すべてのホイールが自由かつスムーズに回転することを確認します。
	ソーに無理な力を加えないでください。ダイヤモンドブレードがブレード固有の速度で切削できるようにします。

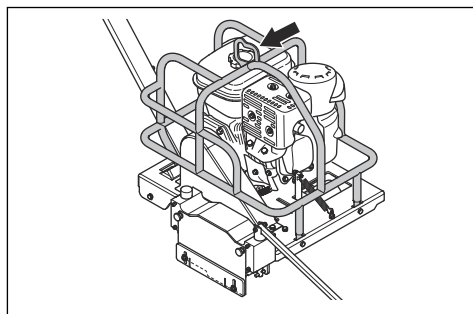
問題	解決策
エンジンが始動しない	タンクに燃料が入っているか、適切な燃料かどうかをチェックします。燃料に水が混入していないことを確認します。
	燃料バルブが ON の位置になっていることをチェックします。
	ON/OFF スイッチが ON の位置になっていることをチェックします。
	スパークプラグワイヤがスパークプラグに接続されていることをチェックします。
	エンジンが水没しています。エンジンの取扱説明書に従ってチョークを調整します。
	コールドスタートに備えてチョークが ON の位置にあることをチェックします。エンジンの取扱説明書に従ってチョークを調整します。
	油面が低すぎる。エンジンにはオイル警告システムが搭載されており、エンジンの油面が適切な範囲内ないと、エンジンを始動させません。
	エアクリーナーに汚れや詰まりがないことをチェックします。
	ブレードシャフトが自由に回転すること、およびブレードブロックにコンクリートが堆積していないことをチェックします。
エンジンのかかりが悪い、バックファイヤーを起こす、または最高速度に達することができない。	タンクに燃料が入っているか、適切な燃料かどうかをチェックします。燃料に水が混入していないことを確認します。
	油面が低すぎる。エンジンにはオイル警告システムが搭載されており、エンジンの油面が適切な範囲内ないと、エンジンを始動させません。
	エアクリーナーに汚れや詰まりがないことをチェックします。
	スパークプラグは汚れがなく、適切な間隔があることをチェックします。
	スロットルレバーが正しくセットされていることをチェックします。
	コールドスタートに備えてチョークが ON の位置にあることをチェックします。エンジンの取扱説明書に従ってチョークを調整します。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 本製品と燃料を保管、搬送する場合は、漏れや煙がないことを確認してください。電気装置やボイラーなどからの火花や裸火により、火災が発生する場合があります。
- 燃料を保管、搬送する場合は必ず、認証されたコンテナを使用してください。
- 本製品を搬送または保管する前に、ブレードを取りはずしてください。
- 搬送を準備するには、ロックピンを取りはずし、ハンドルを前方に折り畳み、ガイドアームを後方に折り畳んでください。

- 本製品はロールケージにあるリフティングフックから持ち上げてください。



- 2人で本製品を持ち上げる場合は、本製品の両側のロールケージバーを使用して両手で持ち上げてください。

- 搬送中は本製品を安全に接続して、損傷や事故を防止してください。
- 本製品を長期間、保管場所に入れる場合は、燃料タンクを空にしてください。燃料は適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 燃料バルブを閉じてください。
- 本製品は完全に低い位置に保管し、動かないように固定してください。
- 本製品は鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。
- 本製品とブレードは乾燥した霜の降らない場所に保管してください。

廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- すべての化学物質（エンジンオイルや燃料など）はサービスセンターまたは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 本製品が不要になった場合は、**Husqvarna** 販売店に送付するか、リサイクル施設で廃棄してください。

主要諸元



www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1159910-79



2018-04-17